

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 D-4-4 事業名 災害公営住宅整備事業（豊里町地区）
事業費 総額 246,075 千円 （内訳：用地費 28,314 千円，設計費 22,473 千円，工事費 195,288 千円）
事業期間 平成 24 年度～平成 26 年度
事業目的・事業地区 市内の豊里町地区において，東日本大震災による被災者の居住の安定確保を図るため，災害公営住宅の整備を行ったもの。（位置図は別紙のとおり）
事業結果 地区名：豊里町地区（総計画用地面積 2,182 m <sup>2</sup> 総計画戸数 10 戸） 木造低層（戸建・10 戸） 用地面積 2,182 m <sup>2</sup>  ＜平成 24 年度＞ ・基本設計 2,091 千円 ＜平成 24 年度～平成 25 年度＞ ・測量設計，実施設計 20,382 千円 ＜平成 25 年度～平成 26 年度＞ ・建設工事（10 戸）195,288 千円 ＜平成 26 年度＞ ・9 月 8 日より供用開始（令和 3 年 3 月末現在 10 戸入居）
事業の実績に関する評価 ①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 ・豊里町地区災害公営住宅は令和 3 年 3 月現在で 10 戸が入居している。建設計画戸数を満たしていることから事業の適正な執行がなされていると判断される。 ・多様な世帯構成や生活のニーズに対応が必要であり，今後も震災前の地域コミュニティや高齢者等へ配慮したまちづくりを推進する。 ・災害公営住宅の退去に伴う空き住居は一般入居により活用する。  ②コストに関する調査・分析・評価 ・事業費の算出は公共工事積算基準（平成 15 年 3 月 31 日国営計第 196 号）等に基づき積算しているため，妥当な事業費であると判断される。 ・契約については，登米市契約規則に基づき入札を行い，適切に業者を選定している。  ③事業手法に関する調査・分析・評価 ・豊里町地区における災害公営住宅整備事業は，以下のとおり，概ね予定どおり事業を進めることができた。

<想定した事業期間>

基本設計完了	平成 25 年 9 月
測量設計, 実施設計完了	平成 25 年 9 月
建設工事発注・工事着手	①平成 25 年 11 月 (5 戸) ②平成 25 年 12 月 (5 戸)
工事完成	①②平成 26 年 8 月 (10 戸)
供用開始	①②平成 26 年 9 月 (10 戸)

<実際に事業に有した事業期間>

基本設計完了	平成 25 年 9 月
測量設計, 実施設計完了	平成 25 年 9 月
建設工事発注・工事着手	①平成 25 年 11 月 (5 戸) ②平成 25 年 12 月 (5 戸)
工事完成	①②平成 26 年 8 月 (10 戸)
供用開始	①②平成 26 年 9 月 (10 戸)

・用地交渉に時間を要したが, 予定どおりに計画を進めることができた。

事業担当部局

建設部住宅都市整備課 電話番号 : 0220-34-2316